

平成 21 年 5 月 15 日発行

しのはらの風 21-2号

小淵沢町篠原区情報紙
発行人; 区長 松井 皎
編集; 藤代 富美男

< 篠原区の年間行事予定 >

篠原区の年間行事予定のあらましが決まりましたのでお知らせします。

月	日	行事	備考
4月	26日	4組側溝上げ	4組だけ特別に広いので実施します 汗をかくと親密度が増しますね
6月	7日	分館対抗球技大会	ゲートボール、ママさんバレー、グランドゴルフ そのほかの球技は?
	14日	環境美化運動	篠原は自然の美しさでもっています 俺達(私達)のまちをきれいに
8月	30日	防災訓練	備えあれば憂いなし 積極的に参加しよう 自分でやらないと身につかない
9月	13日	環境美化運動	秋の美しさを迎えるために
	20日	開拓祭・敬老の集い	篠原最大のイベント 皆で参加して盛り上げましょう 先輩を大切に
10月	18日	町民体育祭	区の意地がかかっています 応援も参加の一つです
11月	8日	篠原文化祭・井戸端喫茶	どんな企画で楽しみましょうか 知らなかった人とも知り合えます
12月	5日	大人のクリスマス会	お茶を飲んで楽しいクリスマス
1月	1日	元旦祭	厳かにピリリと引き締まって 新年のお祝いをします
	10日	櫓組み	子供たちのために大人が汗を流します
	17日	どんど焼き	皆で思いをこめて子供たちの成長を祈って 良き年を祈って

< 4組の側溝上げが行われました >

4月26日(日)に4組の側溝上げが行われました。8時に集合して始めたのですが集合前から天気が急変して寒い突風が吹き、あられが降って大変なスタートになりました。幸いメンバーの心がけが良く、すぐに天候も持ち直して暖かくなりましたが深い側溝の落葉と汚泥の量は変わりません。組メンバーから2台の2t車を出して頂き全員

で掻上げ、車に積んで捨てに行き又側溝から掻上げの繰り返しです。女性陣はゴミ拾いをして美化に勤めます。最初が寒かったせいもあってかみんな頑張っで結局早く終わりました。

その後組の懇親会を開き賑やかに楽しく親睦もはかれました。一緒に汗をかいた後は話も弾みます。

ところで今回も、今までも落葉と汚泥は組内のメンバーの好意によってその敷地に捨てさせて頂きました。多分これからもそうでしょう。でもチョットそれでいいのかなという思いもあります。いつも言っているように「篠原は俺達のまちだ。俺達を作り育てるんだ。」という意識は大切ですし、できることは自分達でやっで行こうとすることは大いに必要です。しかし行政がもう少し関与すべきこともあると思うのです。今回の側溝上げも市道です。いつまでも自治活動の一部を特定個人に負担をかけていることはいかがな事かと思ひます。行政が区民による環境美化活動を支援するシステムがもう少し整備される事を望みたいですね。

<分館対抗球技大会が開催されます>

6月7日(日)に小淵沢総合グラウンドを中心にして分館対抗球技大会が開催されます。小淵沢町内の13の区で成績が争われます。近年では篠原はママさんバレー、ゲートボール、グランドゴルフの3種目にエントリーしています。そのほかにも卓球、ソフトボールがあります。残念ながら終了後の成績発表では「篠原」の名前が呼ばれる事はありませんでした。ここ数年は・・・。今年はチョット違うかも知れません。

そこでグランドゴルフの参加メンバーを募集します。各組長に参加を申し出てください。メンバーが少ない時は指名でお願いに出向く事もあります。そのときはよろしくお願ひします。

ゲートボールとママさんバレーはチームもしっかりして練習にも余念はありません。皆さん怪我をしないように気をつけて頑張りましょう。

<春の環境美化運動>

6月14日(日)には春の環境美化運動が行われます。本来小淵沢町内で一斉(5月31日)に行われるものなのですが、篠原では環境の違いから1~2週間遅らせて実施しています。他地区と日にちがずれる為、中学生の皆さんにはクラブ活動等に支障が出るかと思ひますが調整して都合をつけてください。

朝8時に各組で集合して作業開始です。草刈や枝落としは危険な道具が一杯です。くれぐれも怪我をしないようにしてください。刈払機を使っている人の近くには近付かないことです。エンジンの大きな音で呼びかける声も聞こえないことがあります。

この活動は町をきれいにして住民同士の一体感を増すという目的もあります。休憩時間にはジュースを飲み、パンをかじって語り合ってください。そこで何かが生まれるかもしれません。

＜健康寿命＞山梨は全国トップ級

山梨県内の健康寿命は全国でもトップクラスという結果が発表されました。県立大学看護学部の小田切教授の研究調査結果です。「健康寿命」とは高齢者が寝たきりになったり、介護を受けたりせずに自立して生活できる長さだそうです。表の数字はその年齢で何年間を自立して生活できるかを表しています。数字の根拠は国勢調査による平均寿命と介護保険制度の要介護認定者数を基にしています。

教授によると、無尽や活発なボランティア活動など濃密な人間関係が築かれている山梨の社会環境が、健康寿命の長さに影響しているそうです。更に、生活習慣病の統計上、中高年からの生活習慣病対策が介護を受けずにすむために有効だとしています。教授は「平均寿命を長くすることより、自立して生きられる期間を延ばすことの方が意味がある」と結んでいます。

小淵沢はどのようなのでしょうか。篠原は小田切教授のいう濃密な人間関係が築かれているのでしょうか。濃密という言葉がどういうことを意味するのかいろいろ理解の仕方があると思いますが、要は行政による縦型の支援ではなくて、住民同士の助け合いとかお付き合いということを行っているような気がします。身近に気を配り気軽に声を掛け合う近所関係がいいのではないのでしょうか。

年齢	1位		2位		3位	
	男	女	男	女	男	女
65歳	長野 16.40	山梨 18.59	山梨 16.38	茨城 18.43	福井 16.17	福井 18.29
70歳	山梨 12.61	山梨 14.22	長野 12.45	茨城 14.12	沖縄 12.33	福井 13.88
75歳	山梨 9.22	山梨 10.13	沖縄 8.99	茨城 10.08	長野 8.92	静岡 9.81
80歳	山梨 6.25	茨城 6.53	沖縄 6.00	山梨 6.51	茨城 5.96	静岡 6.23
85歳	山梨 3.91	茨城 3.84	沖縄 3.77	山梨 3.73	茨城 3.68	静岡 3.50

* この項は朝日新聞 4月27日付山梨版の記事を基にしました。

＜篠原区の現況をお知らせします＞

5月1日現在の篠原区の現況をお知らせします。(小淵沢総合支所調べによる)

	1組	2組	3組	4組	5組	区民数	未加入	区加入率
世帯数	31	23	23	42	24	143	158	47.5%

尚、篠原区内の総世帯数は301、人口は661名です。1世帯あたりの人口は2.196

人です。

昨年同月は人口 628 人、世帯数 287、区民数 128、区加入率 44.6%でした。区への加入率はなかなか 50%を上回りません。区では加入促進のための活動をします。皆さんも近所の未加入者に声をかけてみてください。一緒に町を作ろうというお誘いです。不明な点、質問されて困った事が有りましたら組長または区の役員に連絡してください。説明に伺います。よろしく申し上げます。

<開拓の思い出>

「開拓の思い出」今回は青山工務店の先代の奥様の青山チイ子さんです。志村卓爾さんの冊子に寄稿されたものです。

「開拓の思い出」	十五、思い出 青山 チイ子
<p>此の度開拓の思い出を発行して下さいの方に感謝申し上げます。</p> <p>思い出おこせば四十年以上も前のことを書きまとめておかれた頭の下がる思い出一ぱい。私共の入植した時は百姓の事など何も知らず不安のまま入植しました。兵隊さんが残して行かれた三角兵舎に入り屋根が三角ですので頭ばかりぶつけて居りました。風呂はドラム缶で隣の渡辺秀吉さんから聞きました。食事の支度する度に女取川から水を汲みお米の配給が少ないので近くの野草をつんで入れて食べました。主人は大工でしたので仕事をたのまれ渡辺さん鈴木さん私の家の順番に家を建て三角兵舎を出ました。開墾するのに困るので横浜に居る私の従兄弟が南方から復員して遊んでいたのでもらって開墾してもらい私が芝ふるいをしました。昭和二十一年に次女が生まれた時はランプでしたが長男が生まれた時は昭和二十三年でしたので電気がついていました。電気工事人も人夫に出るのが大変でしたが、電気が各家についた時の喜びは一生忘れません。分校も出来今井保健婦さんも来られ部落の方々は大変助かりました。学芸会は勿論大人の演芸会もあり踊を習うのに小淵沢まで行った事を思い出します。あの頃は苦しかったけれどわりに楽しかったと思います。其の間に台風もあり家の中から戸を皆んなでおさえていた事などあり、タバコの葉が落ちて泥だらけになり困った事雨が降り続いて小麦が立ったまま芽が出た事などありました。其の内に水道工事が始まり主人と共にスコップを持って穴掘りに出た事、水道が各家庭に入った時の喜び忘れられません。当時は食糧の配給は篠尾農協迄で取りに行った事帰りには何回も休みながら帰ってきた事一緒に買物に行った近所の叔母さんも今は亡なられ淋しいかぎりです。今の二世の方々も此の開拓の思い出を読んで心のうたれない人はいないと思います。昔の人は大変だったなと思ってくればこんな嬉しい事はありません。開拓の皆様いつ迄も御元気で長生きされますよう、お祈り致します。</p>	